

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

- ・道路下に埋設される雨水排除施設は、浸水を防除するという共通の目的で設置される一方、施設管理は道路管理者や下水道管理者と場所により異なっている。管理者の域を超えた連携による現場対応や、浸水想定箇所の早期解消を目指した予防保全的な取り組みにより、浸水解消及び管理コスト縮減を図る。
- ・通信型水位センサ等のIoT技術を活用し浸水予兆を早期に発見し、道路と下水道双方の関係者にいち早く情報を共有することで、交通規制や避難情報発信の迅速化に繋げる。

②提案の概要

提案①：分野を超えた連携による面的な浸水リスク解消

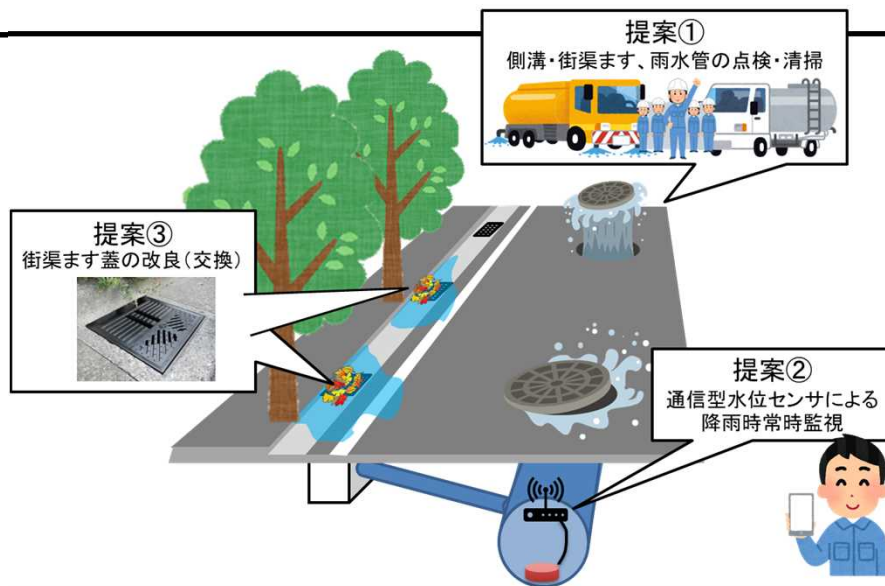
別管理の道路施設と下水道施設を一体管理することで、管理手法の最適化及び降雨時の現地対応迅速化を図り、排水能力の最大化と浸水リスクの解消を目指す。

提案②：IoT技術による水位情報の共有化

管路内に設置した通信型水位センサ等を用いて、浸水に繋がる水位情報をクラウドにリアルタイムで送信し、交通規制や避難情報発信等を迅速に行う。

提案③：予防保全的施設改良

柵蓋の落葉等による閉塞や泥溜めへの土砂堆積による排水能力低下等の浸水原因を特定した上で、これらを解消するための施設改良（高排水性蓋等への取換え）を行う。



③スキーム（技術）の導入により得られる効果

- ・浸水リスク低減、浸水解消に貢献
- ・迅速な交通規制、市民向けの避難情報発信に寄与

その他

- ・将来的には、空洞探査、舗装点検等の業務連携に拡大可能。

②提案の概要

【対象施設】

包括対象とする施設は、下水道の雨水排水区に接続する道路及び下水道の雨水管を基本とする。

【業務内容】

包括委託は浸水解消のため、下記の3業務を実施するものとする。

- ①降雨時の確実な機能確保に関する日常管理(清掃、巡視点検、調査等)
- ②浸水解消のための施設改良(蓋の取り換え)
- ③降雨時の浸水予兆情報収集(水位監視)

【費用分担】

例えば、管理者毎の延長割合

